

日丁下七新聞

日伯新聞附錄  
伯國聖市マエストロ  
カルデン街一一〇九  
(ヴエルグダイ二五八)  
發行所 日伯新聞社  
【每週一回發行】

# 性こりない殘敵ども



# 海州完全に占領

敵前上陸を敢行  
海州完全に占領  
輝く無敵皇軍の戦果

の年少陳



兵將軍の拜參社神國靖海がわ

# 廣東の蚊

廣東はたいてんあついところなどもあつて國にだけあります。冬でもゆきはぶりまる木がおぼく、ナシとかゴムせん。ときどきしなどがおの木とか、枝から根がたれてりことがありますか、それもほんとのときどきのことです。冬でもいろいろの花が咲いています。

木などもあつて國にだけあります。冬でもゆきはぶりまる木がおぼく、ナシとかゴムせん。ときどきしなどがおの木とか、枝から根がたれてります。日本にある梅や桜やけやかな木は一本も生えておりません。まるでちがつた景色になりました。

## 陳少年の年譜

どうの國にも負けない  
日本の潛水夫

かう  
行  
白領  
車の戦果  
るんりやう

去年の十一月印度のセイロ  
ン島附近で沈没した日本の貨物船満壽丸はイギリス、ドイツ、イタリアなどの會社が浮きあげて救はうとしましたが失敗し、遂にこんど日本の大失敗した。鐵帆艦の時ですか  
るエーデルワイスの救助をす  
る仕事)の岡田組が見事にや  
つてのけて世界をあつといは  
せました。鐵帆艦の時ですか  
らその手柄は大へんなもので  
遼寧遂に包圍作戦  
征攻をつづけ四日早  
く海州を占領しました  
のではなくと懲快なことでは  
線を通すゴム管があり、厚い  
ヘンです。

うな道程のためとなり、全く駆ふ氣で大勵揚を來しまし  
ての怨が見られるや  
横その怨が三つしてて  
てあります。潜水夫は麻の綱を手に  
潜りますがこの綱は水中で  
下したり、海の深さを計り、また母船との信號な  
使ひます。深海では光柱で  
ぶくて仕事が出来ないから  
電燈で照らし、沈没船の上  
に大きな潜水夫の仕事は日本  
が世界第二なのです。  
が世界第一なのです。  
▼ 潜水具にもいろいろ種類  
がありますが、一番普通用ひ  
るのはヘルメット式で、これ  
は瓦斯切斷器を使つて船内  
焼き切つて、中へはいり  
ます。

潜水も中忍るしいのは、  
どよりも鯨や海蛇などで、  
の鉛の筒で潜水服を噛ま  
らおしまひ。大陸に襲は  
れ氣孔を足で閉ぢられた  
へんです。

# 日本の潜水夫

孫子の恋が三つこじれてゐる。横をそのまま見られるやうになつてゐます。

潜水夫は麻の綱を手にして潜りますがこの綱は水中を上り下したり、海の深さを計つたくなります。また母船との「信號」などに付ひます。深海では光線が力の無いときは切つて、中へはいりこみます。

潜水夫の中が恐ろしいのは、蚊の力です。電燈で照らし、沈没船の中を使ひます。金塊などを引きあけるときは瓦斯切断器を使つて船底をあおしまひ。大船に裏はれただら大へんです。



# お隣の兵隊さん

# 兵隊さん

ミマシタ。 ミンナガホンヲアケマシタ。  
タロウサンガコウエンコウバ

マキイチ（イジン）

卷三(ジン)  
一、ツギヲ ヒラカナ  
カキ ナサイ  
ハマヤラワ  
ヒミイリキ  
フムユルウ  
ヘメエレエ  
ホモヨロヲ  
一、ノトコロノ カナツ  
カヒヲ タダシク カキ  
サイ

卷五の學習(三)
新しい字 日記
表 お出で 水曜
木曜 一日 近頃
土曜 一日 暑い
わけ をぢさん んるゐ
をぢさんでなく、よその 人の男のこと
ようなんうるふ正しともい うるふ正しともい
三百六十五日五時四十分 四十六秒です。ふつと
そのはしたを切捨て、 年としてますが四年で つと一日になれるのでし 目を三百六十六日とし
この年を閏年といひま す。この一日は二月に入れ ます。二十九日と
一日くり上げて 前一

に日	てす	て年	た一	う八	はう	大	のし	
語 句 (一)	裏	第三 新出漢字	萬壽の姫	S	南をさす	かをよく讀んで知ること。	新出漢字	石
道 理	卷七の學習	(五尋)	N	北をさす	二、磁石の種類	「あけのむづかしいところ はほとんどありません。磁 石といふものはどんなもの かをよく讀んで知ること。	板	磁
晝 夜	上品	上品	—	—	一、磁石の仕方	「あけのむづかしいところ はほとんどありません。磁 石といふものはどんなもの かをよく讀んで知ること。	宮	鐵
續 けて	殊 に	—	—	—	—	—	銅	針

一、今週は全體の讀方と十  
頁六行までのわけを書き  
した。先づ全文をよく讀  
てこのお話の大體をわか  
ることが大事です。

二、どんな人々が出てくる  
その人々のかんけいをは  
きりわかること。

一、日本の家庭が、どんな風で又どんなかんけいにあるか皆さんの知りたい、そして皆さんの學ばねばならぬことが書かれています。そのつもりで一生けんめい勉強しなさい。

二、始めからりりかへし讀んで自分の力でどれだけわからかしらべること。

三、くはしいわけは、十五頁  
九行まで。

一家が、モスク一から北極を通  
つてアメリカのサンヂエゴの  
近くまで、一万五千五百キロメ  
ートルを飛んだのがあります  
アダム中尉が、七月  
の飛行服を着て、一万  
百四十メートルの高さ  
り、見事に前の記録を

**特別製** サーチュミット機で六百十キロメートル二十一の驚くべき快速を出した。

— 6 —

# 各國の記録くらべ

A black and white photograph of a vintage biplane in flight. The aircraft has a single-seat cockpit with a prominent windscreen, two sets of wings, and a long tail boom. It is angled upwards towards the top left of the frame. The background is a textured, light-colored sky.

「機器の駆由<sup>カイ</sup>ムダア」

